



### 祝卒業・新入生歓迎号

#### 歴史のなかの 大学図書館

若松 昭子



学生諸君のなかで『ハリー・ポッター』の映画を知らない人は少ないと思う。映画に登場するホグワーツ魔法魔術学校の図書館は、神秘的で不思議な空間である。しかし、撮影に使われたのは臨時のセットではなく、今も学生や研究者に利用されている本物の大学図書館なのだ。映画を鑑賞した人は、身近にある大学図書館（聖学院大学総合図書館をイメージしてみよう）と比べ、内部の様子が少し違うことに気づくだろう。例えば、閲覧室は他の利用者まで見渡せるような大きく広い部屋ではない、回廊のような長い部屋に書架が横並列に配置されている、個々の書架には閲覧机が接している、その閲覧机も5、6人程度しか座れない小さな机である、時には本が書棚に鎖で繋がれている、などなど。

日本の大学図書館の歴史は、長くてもせいぜい120年程度であるが、ヨーロッパの場合、大学図書館の歴史は12世紀や13世紀にまで遡る。印刷術登場以前の中世において、本は大変貴重であった。本が盗難にあう危険性も大きかったに違いない。しかし、昔も今も、学生の勉学や教授の研究のために資料を提供することは大学図書館の重要な使命である。そこで当時の大学図書館が考え出したのが、すべての本を1冊ごとに鎖で書棚に繋ぐという方法であった。これは、鎖つき図書館（Chained Library）と呼ばれた。

映画撮影に使われた図書館には、このような時代の大学図書館の影響が今も色濃く残っている。例えば、本が書棚に鎖で繋がれている場合、本を持ち運べる距離は鎖の長さまでである。そのため、閲覧机は否応なく書架前に設置されることになる。書架毎に閲覧机を設置する場合、大きなものは用意できない、せいぜい書架幅の長さで奥行

きの短い机となる。

魔法魔術学校の図書館ロケ地の一つとして有名なのが、オックスフォード大学ボドレイ図書館内にあるハンフリー公図書館である。開館が1488年という、オックスフォード大学でも最も歴史ある図書館である。現在の建物は17世紀半ばに建設され、改修工事を経ながら今日まで大切に維持されている。当然ながら、ハンフリー公図書館もかつては鎖つき図書館であった。

印刷本が普及しても鎖つき図書館は消え去ったわけではなく、実際には18世紀後半まで続いた。現在、歴史ある図書館で古い資料を閲覧請求すると、木製の堅牢な表紙に鎖の跡が残っている本が出てくることがある。何世紀も前のどんな人がどんな気持ちでこの本を読んだのだろうかと思像しながら頁を繰る瞬間は、わくわくして実に楽しい。学生諸君も、映画や物語のなかで図書館に出会った時、ぜひ図書館の長い歴史に思いを馳せてみてほしい。

（総合図書館長 政治経済学部政治経済学科教授）



#### おすすめ本紹介

##### 『図説 図書館の歴史』

スチュアート・A・P・マレー 著

日暮雅通 訳

原書房 2011年 396p.

図書館が、どのように成立し、時代のなかでどのような役割を担ってきたかを、豊富な図版と平易な文章で綴る。図書館の歴史とは、書物と人々が織りなす壮大な歴史であるということを改めて感じとれる楽しい1冊。



## 「門を叩け、さらば開かれん」

113J040 杉本 太志



知識と出会いは、人生を豊かにするのに重要だ。図書館は、私にそれを最も与えてくれた場所だった。私の本好きは筋金入りで、オープンキャンパスの時から図書館を見学していたほどだ。すぐにライブラリー・アシスタント (LA) の募集に飛びついたのは、言うまでもない。初めて書いた履歴書はめちゃくちゃで、笑いあいながら面接を受けたのが、最初の思い出だ。図書館は高校まではなかった、ビデオや CD があった。大学に慣れていきながら、時間を作っては図書館にほぼ日参していた。学友会活動にも色々と手を出していたので、昔の先輩方の残した資料などを探すことにはまっていた頃もあった。学生歌の CD を見つけてきて、先輩方を驚愕させたのはちょっとした自慢話だ。

授業で司書や司書教諭課程を受講しながら、いつかは司書として働きたいとずっと思っていた。LAは何よりも勉強になった。職員と仲良くなって、任せてもらえる仕事が増えることが嬉しかった。学生選書やビブリオバトルにも積極的に参加した。全てが私の中で、経験と思い出として蓄積されていった。3年になる頃に図書館サポーター「セラエノ」の発足に携わった。何をやるにしても前例なし。のびのびと活動させてもらった。図書館総合展に参加した時は、本好きの他大学生と何人も縁が繋がった。私の世界は広がっていくばかりだった。かくして私は、立派な聖学院&図書館マニアとして卒業を迎えることになった。

私はこの思い出全てを、埼玉県の司書職員採用試験の面接で生き生きと話した。それが良かったのだろう。私は上位の成績で試験を合格し、この春から県立学校で司書として働くことが叶った。夢への後押しまで図書館にしてもらった。

私に4年間かかわり続けてくれた図書館には本当に感謝している。皆さんも、図書館でお気に入りの1冊や場所を見つけてみてほしい。そこから、私よりも大きく楽しい思い出を得てくれれば、先輩としてこれほど嬉しいことはない。

(日本文化学科4年)

## 「私にとっての図書館」

116P107 宮嶋 香純



私が初めてこの学校の図書館に来たのは、事前学習でのキャンパスツアーの時である。中学や高校にあった図書室とは本の数も設備も段違いで、大変驚いた。その中でも特に驚いたのがアクティブラーニング室である。図書館は静かにしなければならぬ場所だと思っていたが、この教室では、話し合いや、プロジェクターを使用したプレゼンの練習ができる。私も、入学してから今までに何度かアクティブラーニング室を利用した。その教室は授業がないときは自由に利用できるので、友人と相談しながら課題をこなした。

また、この大学では、図書館でアルバイトをすることができる。私は本が好きで、小中学生の時には図書委員会に所属していた。そのため、図書館で働くことができるライブラリー・アシスタントは、とても魅力的であった。春学期は学校に慣れることに精いっぱい、ライブラリー・アシスタントには応募しなかったが、図書館はよく利用していた。図書館は静かで落ち着いており、勉強に最適で、私もテスト前の勉強やレポートを書く際は、図書館で行っている。家や他の場所では途中で飽きてしまい、投げ出すことも多いが、図書館では「勉強しなければ」と、私の中のスイッチが切り替わり、驚くほど集中して頑張ることができる。これは図書館の独特な雰囲気のおかげであろう。そして秋学期になり、私はライブラリー・アシスタントに応募し採用された。授業との兼ね合いで、本来の時間より少し短い勤務時間で働かせて貰えるようになった。始めたばかりの頃は分からないことが多く、戸惑ったり失敗したりすることもあったが、職員の方々が優しく対応してくださったので、安心して仕事をすることができた。最近はいよいよ仕事に慣れてきたので、楽しく業務をこなしている。まだまだ完璧とは言えないが、職員の方々は暖かい目で見守ってくれている。これからもライブラリー・アシスタントを続けていき、職員の方々と学生たちの役に立ちたい。

(政治経済学科1年)

## 2016年度 聖学院大学総合図書館 貸出ベスト6

1. 『君の臍臓をたべたい』  
住野よる著 双葉社 2015年
2. 『星の王子さま』  
サン＝テグジュペリ作 内藤濯訳 2003年
3. 『火花』 又吉直樹著 文藝春秋 2015年
4. 『福澤諭吉：文明の政治には六つの要訣あり』  
平山洋著 ミネルヴァ書房 2008年
4. 『夜のピクニック』  
恩田陸著 新潮社 2006年
5. 『ベトナム語』  
三上直光著 白水社 2007年
5. 『基礎からのベイズ統計学：ハミルトニアン  
モンテカルロ法による実践的入門』  
豊田秀樹編著 朝倉書店 2015年
5. 『おりがみ大全集：完全版』  
主婦の友社編 主婦の友社 2014年
5. 『かぜびゅんびゅん』  
新井洋行さく 童心社 2012年
5. 『人の健康は腸内細菌で決まる！：善玉菌と  
悪玉菌を科学する』  
光岡知足著 技術評論社 2011年
5. 『羊と鋼の森』  
宮下奈都著 文藝春秋 2015年
5. 『「法の支配」とは何か：行政法入門』  
大浜啓吉著 岩波書店 2016年
6. 『英国の国家構造』  
バジヨット 深瀬基寛著 弘文堂 1947年
6. 『H. A. サイモン研究：認知科学的意決定論  
の構築』 高巖著 文眞堂 1995年
6. 『トールキンハンドブック』  
コリン・ドゥーリエ著 東洋書林 2007年
6. 『ねずみくんのチョッキ』  
なかえよしを作 ポプラ社 1974年
6. 『こんとあき』  
林明子さく 福音館書店 1989年
6. 『Collected writings』  
Thomas Paine Library of America, c1995

今年度、貸出が多かった本は上記のような結果になった。大学図書館らしく、話題の作品から、レポートの課題になっていた図書や児童学科の学生さんが実習などで利用されたとと思われる絵本などがランキングに入った。皆さんが借りられた本は入っていたらどうか。

## 2016年度 図書館の動き

### ●入館ゲート入れ替え

図書館入口の入館ゲートを入れ替えた。

### ●館内 PC ログイン方法変更 & 印刷管理システム導入

館内の利用者 PC の設定が変更され、UNIPA の ID/PW で利用できるようになった。印刷管理システムも変更され、館内の端末(ノート PC・iPad 含む) 全てから、印刷を出力できるようになった。

### ●デジタルサイネージ(電子掲示板) 設置

カウンター上にデジタルサイネージが設置され、開館カレンダー等の図書館からのお知らせが表示されるようになった。

### ●第1回高校生ビブリオバトル・ワークショップ

高校生を対象にしたワークショップ形式ビブリオバトルを開催した。

### ●全国大学ビブリオバトル2年連続本戦出場

今年も地区決戦を勝ち進み、児童学科2年生安井彩乃さんが2年連続で京都の本戦へ出場した。

### ●図書館でゲームをする日

米国図書館協会(ALA)の呼びかけで毎年行なわれている国際的なイベント「図書館でゲームをする日(National Gaming Day @ your library)」を11月19日(土)に開催した。

### ●洋雑誌の継続見直し

洋雑誌の購読・寄贈の見直しを実施し、停止36誌、新規2誌となり2017年1月購読雑誌は80誌となった。

### ●SERVE JAIRO Cloudへ移行

### ●聖学院大学公開イベント実施

OKEGAWA hon プラス+で、第2回ビブリオカフェ&ビブリオバトル、第3回「ファンタジーの魅力を語る」松本祐子先生(聖学院大学福祉学部児童学科教授)と学生によるトークセッション&ミニコンサートが開催された。

# 2016年図書館の統計

(2017年1月31日現在)

## I 図書館の推移

	学生数	蔵書数	年間受入冊数	開館日数	貸出冊数	資料費
	人	冊	冊	日	千冊	千円
2016	1,846	306,694	3,304	280	9.9	26,285
2015	2,098	304,757	3,943	283	11.5	26,718
2014	2,161	300,897	3,053	281	13.3	27,788
2013	2,419	299,396	3,343	282	14.2	27,216
2012	2,513	296,694	4,261	283	15.8	27,654
2011	2,677	293,148	4,930	275	16	30,849
2010	2,768	288,629	5,116	288	16	30,465
2009	2,724	283,610	5,042	281	16.9	30,497
2008	2,827	277,506	6,570	280	17.6	30,583
2007	2,875	273,877	8,148	276	17.9	32,267
2005	2,968	254,921	6,878	232	18.4	29,700
2000	2,549	219,368	6,769	274	18	35,805
1995	2,137	163,506	13,438	271	21.5	39,700
1990	1,769	96,752	8,195	280	11.8	22,650
1985	1,005	51,000	5,043	284	10.1	12,399
1980	877	36,000	2,599	236	6.8	7,588
1975	763	22,000	4,265	183	3.5	3,754
1968	256	10,000	2,838	[247]	[1.4]	[1,380]
1967	125	7,000		[247]	[1.4]	[1,380]

規程の変更に伴い、1999年以降は消耗品図書も含めた冊数とした。

## II 蔵書冊数

	和書	洋書	合計
総記	11,672	1,451	13,123
哲学・宗教	22,296	16,188	38,484
歴史・地理	19,848	3,376	23,224
社会科学(含教育学・福祉)	85,028	18,807	103,835
自然科学(含医学)	13,457	1,216	14,673
工学(含家事)	7,373	483	7,856
産業	5,654	471	6,125
芸術(含楽譜)	11,009	949	11,958
語学	11,411	2,959	14,370
文学	43,280	14,280	57,560
その他	10,062	5,424	15,486
合計	241,090	65,604	306,694

## III その他の蔵書資料数

	冊数	種類	冊数
和雑誌(紀要・寄贈含)	391	カセットテープ	745
洋雑誌(寄贈含)	80	ビデオ・LD・DVD	3,186
スライド	34	CD	1,393
マイクロ資料	18,814	CD-ROM	837

## IV 館外貸出冊数(図書・製本雑誌)：分類別

(2016年4月1日～2017年1月31日)

学生・院生・履修生のみ

	和書	洋書	合計
総記	396	0	396
哲学・宗教	1,147	21	1,168
歴史・地理	625	1	626
社会科学(含教育学・福祉)	3,031	5	3,036
自然科学(含医学)	350	0	350
工学(含家事)	149	0	149
産業	112	0	112
芸術(含楽譜)	553	1	554
語学	886	2	888
文学	1,562	25	1,587
その他	1,058	6	1,064
合計	9,869	61	9,930

## V 館外貸出冊数：学科・学年別

(2016年4月1日～2017年1月31日)

所属・学年	図書(製本含む)	未製本雑誌	CD
政治政策	2年 19	0	0
	1年 2	0	0
アメ・ヨ文化	後3年 187	3	2
	後2年 175	2	0
	後1年 22	0	0
	2年 79	0	0
	1年 36	0	0
人間福祉	2年 47	0	0
	1年 54	8	0
科目等	10	0	0
大学院生小計	631	13	2
政治経済	4年 181	34	19
	3年 337	17	10
	2年 300	4	8
	1年 514	1	16
コミュニティ政策	4年 88	2	3
欧米文化	4年 401	3	14
	3年 517	2	39
	2年 378	3	20
	1年 222	0	2
日本文化	4年 569	18	1
	3年 922	3	11
	2年 296	3	2
	1年 471	0	2
児童	4年 880	0	5
	3年 714	0	2
	2年 236	0	2
	1年 393	0	0
こども心理	4年 211	3	0
	3年 237	0	0
	2年 245	0	3
	1年 66	0	0
人間福祉	4年 261	5	0
	3年 517	6	0
	2年 175	0	1
	1年 98	0	0
科目等	70	14	0
学部生小計	9,299	118	160
院生・学生合計	9,930	131	162

## VI その他(他館との協力等)

(2016年4月1日～2017年1月31日)

資料借用	冊数	複製依頼	冊数
(内、学生・院生)	65 (29)	(内、学生・院生)	241 (80)
資料貸出	60	複製受付	150
紹介状発行	19	視聴覚コーナー利用	959
(内、院生)	0	館内ノートPC貸出	3,126
紹介状受付	2	館内iPad貸出	728
文献検索	42	マイクロ利用	5

発行・編集 聖学院大学総合図書館  
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号  
電話 048-725-5461 FAX 048-780-1096  
E-mail: lib@seigakuin-univ.ac.jp  
URL: http://seiglib.seigakuin-univ.ac.jp/